

障がいのある方、ボランティア
みんなの力で「交流」の場に！

～山田図書館にかたらい喫茶トロッコがオープン～

嘉麻市社協だより

えがお

発行日 2008.6.1 No. 28



社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会

発行 〒820-0205 福岡県嘉麻市岩崎1143番地3 稲築住民センター内

TEL 0948-42-0751 <http://kama.syakyo.com>

FAX 0948-83-8005 info@kama.syakyo.com

知り合おう伝えよう!!

みんなの活動、地域のホットニュース!!



広めていきたい 障がい児者への理解

～かたらい喫茶トロッコが山田図書館にオープン～



笑い声の絶えない店内



「いらっしやいませ」と元気にお客さんを迎えてくれます

「多くの市民の方との交流を通して、障がい児者への理解を広めていきたい…」そんな思いが詰まった喫茶店「かたらい喫茶トロッコ」が、5月10日(土) 山田図書館の一角にオープンしました。

この喫茶店は、山田ふれあいハウスで毎週火曜日に営業する喫茶かたらいの運営に携わってきた山田地区の障がい児者と家族の会「トロッコの会(会長・浜野美雪さん)」が中心となり、エフコープのふくし基金からの助成を受けてオープンしたものです。

「浜野さんは、「もつと多くの人たちと交流がしたい」と思い続けて、やっと夢を形にすることができました。多くの方に利用してもらって、少しずつ理解者や応援してくれる人を増やしていきたいですね」とこれからの目標を語ります。

ところで皆さんは、障がいのある方たちが地域で生活する現状をご存知でしょうか。

「多くの市民の方との交流を通して、障がい児者への理解を広めていきたい…」そんな思いが詰まった喫茶店「かたらい喫茶トロッコ」が、5月10日(土) 山田図書館の一角にオープンしました。

この喫茶店は、山田ふれあいハウスで毎週火曜日に営業する喫茶かたらいの運営に携わってきた山田地区の障がい児者と家族の会「トロッコの会(会長・浜野美雪さん)」が中心となり、エフコープのふくし基金からの助成を受けてオープンしたものです。

障がいがあることによって、養護学校卒業後の進路は、作業所や施設に通うといった限られた選択肢がなく、一人ひとりが自分らしく自己実現できる環境が整っていないのが実情です。

スタッフの古賀稲子さんの長女で、今年の3月に養護学校の高等部を卒業した秋絵さんは、週に2日市外の施設に通い、喫茶店の営業日にはスタッフとして、調理などに携わっています。秋絵さんが得意としているのが、毎回完売するほどの人気のシフォンケーキ作りです。そのほとんどの作業を一人で担っています。

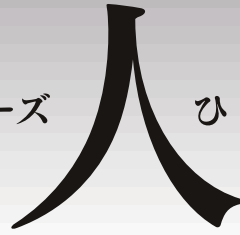


山田図書館の一角で毎週金・土曜日に営業中

古賀さんが「喫茶店でのケーキ作りなどの作業を毎回楽しみにしているんですよ」と語るように、秋絵さんにとってかたらい喫茶トロッコは、やりがいを感じることでできる場になっているようです。

今回オープンしたお店は、山田図書館と併設していることから、図書館や生涯学習館を利用する方々が気軽に立ち寄れるという好条件にあります。この喫茶店が障がいの有無に関わらず、多くの市民の交流と憩いの場になると同時に、運営に携わるスタッフにとつての生きがいの場となれば、障がい者福祉への理解も少しずつ深まっていくのではないかと感じます。

みなさんもかたらい喫茶トロッコで、コーヒーや軽食を口にしながら、交流を深めてみませんか。きっと素敵な出会いが皆さんを待っていることでしょう。



嘉麻市で今輝いている「人」を紹介します

花に込める「愛」、
花で広がる「輪」あとべ
跡部アイ子さん

枝坂在住 82歳

旧三井山野炭鉱の職員社宅が立ち並ぶ枝坂行政区に、季節の花が10種類以上咲いている色鮮やかな花壇があり、朝夕の散歩や通勤・通学する方々の足を止めます。

この花壇の「管理人」は、近くに住む跡部アイ子さんです。20年ほど前から、「地域の皆さんに喜んでもらいたい」と一人で始め、毎日欠かさずお世話しています。

自宅から少し離れたところに、跡部さんが花を植える理由とは…。跡部さんに花壇への想いを伺いました。

花壇に水やりに行くことが日課の跡部さんは、朝6時すぎには花壇の手入れをします。また、花壇の近くに水道がないため、一輪車に大きなジョーロを積んで3往復もします。

花壇づくりのきっかけは、道路沿いの空き地に雑草が伸びて殺風景になり「花を植えたらきれいになるのでは？」と、慣れない手つきで草を刈って、花の苗を植えたことだそうです。「見違えるほどきれいになりましたね」「きれいな花ですね、何と言う名前ですか？」と、近所の方から声をかけられたことが、今でも続いているエネルギーとなっています。「先日、女学校時代の同窓会で家を空けたとき、帰ってから真っ先に花壇に行っただけですよ。1日見ないだけで心配でしょうがなかったんです。花にあいさつしないと気が落ち着かないんですよね」と、花への愛情が伝わってきます。

おしゃべりが大好きだという跡部さんですが、一人暮らしのため、テレビを観て過す時間が多いそうです。「家のま



跡部さんの愛情がこめられた花壇

わりも空き家が多くなりましたね。昔に比べると随分寂しくなりました。だから、近所の人々がたくさん通る道沿いに花を植えて、水やりや草とりをしているときに、近所の方とあいさつしたり、いろいろな話をしたりするのが楽しみなんです」と、花を植えることで、話をするきっかけをつくっています。

花壇があることで、人が立ち止まり、自然とあいさつを交わす。花壇は、跡部さんだけでなく、地域の方にとって心とむふれあいの場となっています。「多くの人に愛され続けて欲しい」と、跡部さんは、今日も花壇で「笑顔」という名の花を咲かせていることでしょう。



花に「声」をかけながら手入れします





いきいきサロンでの健康づくり



子育て支援



団塊世代社会参加応援講座



日曜大工ボランティア講座



障がいのある子どもたちの支援

会員募集

支えてください！ 地域の福祉活動

嘉麻市社会福祉協議会(社協)は、行政の制度や福祉サービスだけでは対応することができない生活上の様々な困りごとを解決するため、市民の皆様とついに考えながら、地域での支えあいの関係づくりを進める活動や様々なサービスの提供を行なっています。

社協では、このような活動や事業を支えてもらう方法として「会員制度」を設けており、趣旨に賛同していただける会員を募集しています。

会員の加入は、年間を通じて随時受け付けておりますが、6月からは各地区において、会員募集の呼びかけをさせていただきますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

平成20年度の会費によって次の事業を実施させていただきます

●地域の拠点づくり開設事業

世代を問わず、緊急時に誰でも利用できる、もう一つの「我が家」のような拠点を開設します。

●団塊世代社会参加応援講座の開催

団塊の世代の皆さんの仲間づくり、活動支援を目的として、講座を開催します。

●おもしろ広報紙づくり講座の開催

読んでもらえる広報紙づくりのためのテクニックなどを学び、職場やボランティア活動などに活かしてもらえよう、講座を開催します。

●災害ボランティアセンター事業

災害時に、ボランティアセンターを素早く立ち上げ、復興支援活動に取りかけられるよう、訓練などに取り組みます。

●在宅介護者のつどい

在宅で介護に携わる方々のリフレッシュと、介護に関する悩みや不安の共有、情報交換の場を提供し、負担軽減につなげていくために開催します。

この他にも、地域福祉部、福祉推進員の設置・支援、障がいのある子どもの余暇活動を支援する事業、ホームレス自立支援事業、児童遊具の整備、地域福祉部研修事業、心配ごと相談事業、傾聴ボランティア講座などの事業や活動にも有効に活用させていただきます。

本会の会員は、下記のように区分されていますが、会員としての趣旨はいずれも同じです。

一般会員 1口 1,000円/法人・団体会員 1口 3,000円

社協会員についての連絡・お問い合わせ

嘉麻市社会福祉協議会(稲築住民センター内) ☎42-0751

かまボランティア 市民活動センター情報

2008年
6月

障がいのある子どもたちの 余暇活動サポーターになりませんか!?

障がいのある子どもたちにとって、スポーツや野外活動、地域のイベント等へ参加し、様々な体験や経験をしていくことは、成長していくうえで、とても重要な意味を持ちます。しかし、活動に参加できる機会や、協力者が少ないことから、子どもたちの経験できることが制約されてしまっているのが現状です。

そこで本会では、市民の皆さんに、障がいのある子どもたちと一緒に遊んだり、関わっていただける支援者を増やしていくため、余暇活動サポーター養成セミナーを開催します。

あなたも保護者の思いを聞いたり、子どもたちとの関わり方などを学んで、障がいのある子どもたちのサポーターになりませんか。

【日 時】 平成20年7月5日(土) 午前10時～午後3時

【場 所】 山田ふれあいハウス

【内 容】 ① 障がいのある子どもたちの余暇活動の現状について
② 保護者、余暇活動支援者が語る余暇活動の必要性とは
③ 障がい特性を理解する ほか

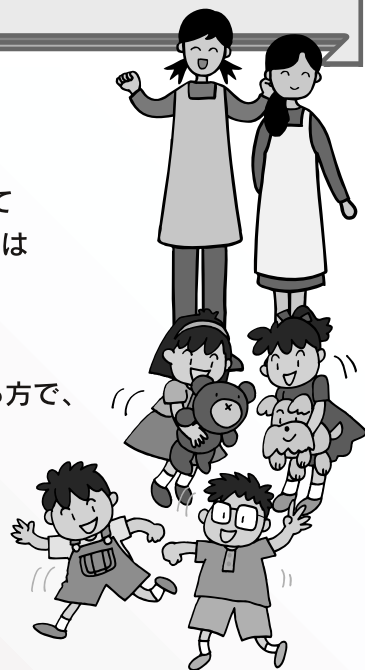
【参 加 費】 500円(別途昼食代が必要となります。)

【参加対象者】 障がいのある子どもたちの余暇活動支援に興味のある方で、
セミナー受講後、市内で活動できる方

【参加定員】 15名

【申込受付期間】 平成20年6月2日(月)～6月27日(金)
(土・日曜日を除く午前8時30分～午後5時)

【申込・お問い合わせ】 嘉麻市社会福祉協議会 ☎ 42-0751



「私をやれたー！
僕もやれるー！」

6月15日サルビアパークで、
チャレンジスポーツフェスタ
が開催されます

日ごろスポーツに接する
機会が少ない障がいのある
人たちが、専門指導員とも
にスポーツで楽しい一日を
過ごします。

●日時

平成20年6月15日(日)
・午前の部 10時から
・午後の部 13時30分から

●会場

サルビアパーク(上山田)

●参加対象者

小学生以上の障がいのあ
る方とその支援者

●競技種目

バスケットボール、ボッチャ、
フライングディスクほか

●参加費

500円(参加者、支援者
とも)

●主催

チャレンジスポーツフェ
スタ実行委員会

●お問い合わせ

奥村 090-7139066
穴井 090-9586214

「困ったときはお互いさま」で広がる新たな 地域支えあい事業情報



本会が実施している「地域支えあい事業」は、高齢者や障がい者、子育て中の方などが抱える日常生活のちょっとした困りごとを、協力会員が有償でサービスを提供し解決していく事業です。

現在26名が協力会員として登録し、利用会員の様々な困りごと、例えば「腰が悪くて草取りができない」「住居の整理整頓をしてほしい」などの解決のためにサービスを提供しています。

これからも様々な困りごとに対応していくためにも、多くの利用会員を必要としています。困ったときはお互いさまの地域をつくっていくために、協力会員として登録してみませんか？

詳しい内容については、
嘉麻市社協事務局（42-0751）までご連絡ください。私たちの地域は、私たちの手で支えたいませんか？

シリーズ

介護体験記

No.14

家族で介護

松隈 多美子



家は四世代七人家族でした。義母（以下「ばあちゃん」と書きます）が、平成14年、92歳で脳梗塞になり、右半身と言葉の自由をなくして、飯塚病院と稲築病院に6ヶ月位入院しました。退院する時は、要介護5の状態でした。家族とケアマネージャーと話し合い、「ばあちゃんに一番やさしくて、私にもストレスが溜まらないように」と、好きな趣味の時間を取り入れて

もらい、ケアプランを立ててもらいました。

そして、デイケアに通う

ようになりました。何ヶ月か過ぎた頃、ばあちゃんが帰った時に、介護士さんから「今日は、大きな口を開けてり

んこの唄を歌いましたよ」と

言われて、声が出ないと思っ

ていたので、びっくりしま

した。早速、私が歌ってみる

と、ばあちゃんは笑いな

らかすかに声を出して歌い

ました。言葉は出ないけど

歌えるのですね。オムツを

替えて気持ちが良い時、ば

あちゃんはよく歌いました。

当時、小学三年生だった孫（ば

あちゃんにすれば曾孫）も、

りんこの唄を覚えて、ベッ

ドの横で二人で仲良く歌っ

ていました。その光景は、とっ

てもかわいかったですよ。

今になって思えば、家族

と協力しながらばあちゃん

を介護できた事、良かった

と思っています。97歳で旅立っ

たばあちゃんのお別れの時

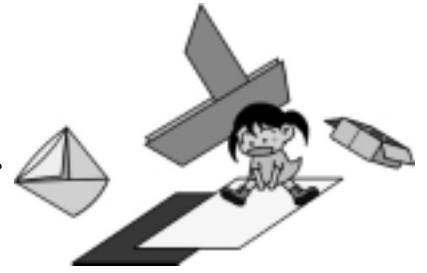
も、りんこの唄を流しても

らいました。お世話になっ

た病院のスタッフの皆様にも、感謝しています。



子育てを応援してくれる方、
いませんか？



～子育てサポーター養成講座を開催します～

本会では、地域の子どもと親の「育ち」を応援する「子育てサポーター養成講座」を、下記のとおり開催します。子育て中の方はもちろん、子育てがひと段落した方、経験はないけれど活動に関心がある方、あなたの思いや経験を地域の支援活動（子育てに関するアドバイスや託児活動など）に活かしてみませんか？子どもの「育ち」を、家庭だけでなく、地域全体で支え合う機運を高めていきましょう。

日時	場所	内容
6月23日(月) 10:00～12:00	うすい人権啓発センター あかつき	講座1 メディアが子どもに及ぼす影響 ～テレビ、インターネット中心の時代の中で～ 講師 npo法人子どもとメディア常務理事 古野陽一さん
7月3日(木) 10:00～12:00	うすい人権啓発センター あかつき	講座2 子どもたちに必要な「おもちゃ」とは？ ～子どもたちの遊び心を耕すおもちゃを紹介～ 講師 からのすのほんや主宰 芳野仁子さん
7月9日(水) 10:00～12:00	碓井千歳会館	講座3 おしゃべりサロンに参加してみよう！ タッチケア&託児体験 指導 吉柳三枝子さん、平山きよみさん
7月17日(木) 10:00～12:00	うすい人権啓発センター あかつき	講座4 「いのち」が誕生する瞬間からのメッセージ ～助産師の視点での「子育て」支援について 講師 筑豊助産師ネット 重久優子さん、梶嶋陽子さん

- ☆ 参加対象 地域の子育て支援活動に関心のある方や活動中の方
- ☆ 参加定員 20名
- ☆ 参加費 無料
- ☆ 申込期間 6月2日(月)～6月20日(金)
※託児あります(申込時にお子さんのお名前と年齢をお伝えください)

申込みの受付・お問い合わせ

嘉麻市社会福祉協議会

☎ 0948-42-0751



子育てリユースセンター情報

子育てリユースセンターは、月曜日から金曜日(祝日を除く)9時から17時まで、碓井千歳会館にてオープンしています。ご家庭で使わなくなった子育て用品を市民の皆さんに持ち寄ってもらい、子育て用品が必要な方が、自由に持ち帰ることができます。幼児用衣類を中心に絵本や玩具、辞書や参考書などが寄せられています。

幼児用衣類を入れ替えました



センターでは、陳列している幼児用衣類を今までの冬用から夏用に、衣替えしました。幼児用衣類は、サイズ別・男女別に陳列し、市民の皆さんが探したい用品を選びやすいように工夫しています。利用者からは「夏に合わせて、今から着られる服ばかりあるので、とても助かっています」「男女別になっているので、選びやすいですね」などの声が聞かれるようになりました。

学用品(制服や体操服など)を募集しています

センターでは、幼児の子育て用品以外にも、中学や高校で必要な制服や体操服などを募集しています。これらは、決して安価なものではなく、家庭への負担も少なくないと思われます。今年度の入学シーズンには、学用品が不十分で、市民の皆さんの声に応えることができませんでした。一人でも多くの方にリユースできるよう、学用品を募集しますので、3月に中学・高校を卒業された方などで、ご家庭で使わなくなった学用品がありましたら、センターまでお寄せください。

尚、衣類等をお寄せいただく場合は、洗濯やクリーニングをお願いします。また、リユースすることができないものは、ご遠慮いただく場合がありますので、ご了承ください。



お問い合わせ： 嘉麻市社会福祉協議会 ☎42-0751
嘉麻市碓井千歳会館 ☎62-3538

法人運営 Information

嘉麻市社会福祉協議会では、下記のとおり平成19年度の監査を実施しました。

実施日 平成20年5月16日(金)

4月から窓口を一本化しました

嘉麻市社会福祉協議会は、平成19年度をもって稲築、碓井、山田、嘉穂の各支部を廃止し、20年度から稲築住民センター(稲築総合支所横)を拠点に、嘉麻市全域を活動エリアとして、事業や活動を実施することになりました。本会事業へのお問い合わせや各種相談、お申し込み等は、下記までお願いいたします。

嘉麻市社会福祉協議会事務局

稲築住民センター内(嘉麻市稲築総合支所横) ☎ 42-0751

※なお、碓井千歳会館、山田ふれあいハウス、嘉穂老人福祉センター内においても、これまでどおり担当職員が常駐しておりますので、お気軽にご利用ください。



子どもたちのために
安全な遊び場を

稲築地区の
福祉推進員が
児童遊具を点検



本会が、稲築地区の広場などに設置している児童遊具(17ヶ所39遊具)の利用状況や不具合等を点検するため、福祉推進員が、4月中旬から下旬にかけて実態調査を実施しました。

児童遊具での痛ましい事故

が全国で相次ぐ中、福祉推進員は普段目が届きにくい、すべり台の支柱のボルトやブラコンのチェーンの摩耗状況、腐食具合等の細かいところを、丁寧に回りました。鴨生町行政区の井上一江さんは、「事故を防ぐためには、自主的な定期点検が必要です。何かあつてからでは遅いですから」と、遊具に触れながら念入りに点検していました。

今回の調査の結果、ほとんどの遊具が良好な状態でしたが、今後も修理や塗装が必要な児童遊具については改修し、利用頻度が少ない遊具は、安全管理上、撤去等の処置を検討していきますので、よろしくお願いたします。

嘉麻市の住民の皆様から、
ご寄附をいただきました。
心より厚くお礼申し上げます。

寄附・香典返し
4月16日～5月15日受付分



【鴨生第二】 親族 江頭 雄校 様
故 江頭 義則 様
【稲築才田】 親族 江川 ハツミ 様
故 江川 義光 様
親族 松尾 ヤスミ 様
故 松尾 一成 様
【鴨生町】 親族 北添 正雄 様
故 北添 誠 様
【山野第二】 親族 森山 晴恵 様
故 森山 一晁 様
親族 西山 幸男 様
故 西山 康男 様
親族 赤淵 友義 様
故 赤淵 友邦 様
親族 赤坂 恵俊 様
故 赤坂 恵俊 様
【漆生本村】 親族 井喜美代 様
故 井喜美代 様
親族 三宅 英美 様
故 三宅 英美 様

【口春】 親族 須山 フミ 様
故 須山 賢次 様
【宮地】 親族 武智 ハマ子 様
故 武智 正 様
【銭代坊】 親族 佐保 秀智 様
故 佐保 千エコ 様
【西郷】 親族 武田 紀美子 様
故 武田 ハヤノ 様
【飯田】 親族 犬丸 ミサヲ 様
故 犬丸 ミサヲ 様
親族 犬丸 正 様
故 犬丸 正 様
親族 犬丸 光代 様
故 犬丸 光代 様
親族 穴見 ミヨ子 様
故 穴見 ミヨ子 様
親族 穴見 久徳 様
故 穴見 久徳 様
【上白井】 親族 椋田 正好 様
故 椋田 正好 様
親族 椋田 正美 様
故 椋田 正美 様
【下白井】 親族 吉村 弓江 様
故 吉村 弓江 様

【西川】 親族 會田 むつみ 様
故 會田 熙 様
【古河】 親族 西本 太一 様
故 西本 シツエ 様
親族 西山 敏美 様
故 西山 シズカ 様
【木城】 親族 山本 寛治 様
故 山本 フジコ 様
【猪之鼻】 親族 久保 二三子 様
故 久保 惠 様
【神幸】 親族 日高 秋憲 様
故 日高 秋憲 様
【筑紫】 親族 永岡 真弓 様
故 永岡 キクエ 様
【江星】 親族 小柳 昇治 様
故 小柳 ユキエ 様
【屏】 親族 大串 ユキエ 様
故 大串 ユキエ 様
親族 川上 澤子 様
故 川上 澤子 様
親族 川上 菊美 様
故 川上 菊美 様
【宮吉】 親族 永吉 明 様
故 永吉 明 様
親族 永吉 松子 様
故 永吉 松子 様
【桑野】 親族 櫛原 洋子 様
故 櫛原 ミサエ 様
親族 櫛原 登美子 様
故 櫛原 登美子 様
親族 原田 聖 様
故 原田 聖 様

【下牛隈】 親族 田籠 精一 様
故 田籠 正行 様
親族 樋口 正男 様
故 樋口 正男 様
【貞月】 親族 森田 司郎 様
故 森田 シツヨ 様
【芥田】 親族 溝口 宗剛 様
故 溝口 昭代 様
【一般寄附】 漆生老松行政区 匿名 様
上白井上 松隈ユリ子 様
嘉穂の名水愛好者一同 様
【物品寄附】 チャイルドシート 匿名 様
石ヶ崎 渡邊美千代 様
【子育てリユース】 下白井西 田中 安之 様
下白井西 井上 忍 様
嘉穂才田 児玉 清美 様
【アルミ缶】 西郷 田中 英子 様
本町 室井 保夫 様
下山田 大塚 直美 様
セレモニーホールおつか 田中 利幸 様
飯田 田中 利幸 様

【リングプル】 下牛隈 島中 鈴香 様
尾浦第一 沼田 紘輝 様
さくらが丘 伊藤 弘子 様
下山田小学校PTA 田中 利幸 様
グラントベルズ飯塚 熊ヶ畑第一 笹尾 五重 様
飯田 田中 利幸 様
【古切手】 鴨生北町 匿名 様
石ヶ崎 渡邊美千代 様
ビューティサロンかいだ 下山田小学校PTA 匿名 様
教育ナビゲーション 匿名 様
あなたのお費が、社協の
地域活動を支えています。
会員として、次の方々に
ご加入いただきました。
（敬称を省略させていただきます）
4月16日～5月15日受付分
【個人会員】 平山 末次 昭枝 様
飯田 高原 綾子 様
六四田 松岡 和子 様
上白井下 匿名 様
下牛隈 田中 時江 様
千手 森 美子 様
中益 豊福 英之 様
豊福 眸子 様

富山県高波災害義援金にご協力ありがとうございました

富山県で発生した高波災害の義援金を募集したところ、下記のとおり皆さんから募金が寄せられました。

- 募集期間／4月1日(火)～4月25日(金)まで
- 義援金合計額／17,284円

義援金は、富山県共同募金会を通じて、被災された方のために役立てられます。ご協力誠にありがとうございました。

嘉麻市社会福祉協議会指定

〔葬祭場紹介〕

きど葬祭 やまさ碓井斎場 嘉麻市飯田214-1 ☎(0948) 62-4499



葬儀申込み時に、「嘉麻市社会福祉協議会の指定でお願いします」とお伝え下さい。葬祭にかかる費用の一部について割引を受けることができます。

嘉麻市社会福祉協議会指定葬祭場は、きど葬祭 やまさ碓井斎場を含め、市内に7ヶ所あります。

いすや会館	☎ 57-4444
セレモニーホールおおつか	☎ 52-1212
かほ葬祭 あじさい会館	☎ 62-5566
善光会館 稲築会場	☎ 83-5000
おかむら葬祭岡村会館	☎ 42-4420
飛鳥会館 南斎場	☎ 42-4241

- 平成18年10月にオープンしました。
- 24時間年中無休です。
- 精一杯真心で御奉仕致します。
- いつでもどこでもお伺い致します。

知っておきたい

葬儀マナー・基礎知識 No.14



今回ご回答頂くのは…

きど葬祭 やまさ碓井斎場 永芳 直さん

Q. 香典を包む際に、配慮することはどのようなことですか？

A. 結婚式では新札を使用しますが、お葬儀では取り急ぎ準備しましたという意味で、新札は使わないことがあります。

その他、ご香典の表書きにはご霊前と書くのが一般的でしょう。また、重ね封筒はしないとされています。

コラム

交差点

車を運転して訪問先へ向かう途中、私はなにげなく道路の左端に目を向けました。焼酎のバック、ビニール袋のような黒い物体がサッと視界を通り過ぎていきました。

私はそのまま車を走らせながら、しばらくの間、道路の左端に意識をやりました。

走行中の車から投げ捨てられたものでしょうか。ジュースの空き缶、お菓子の袋、雑誌、軍手、靴、たばこの箱……。目的地までのほんの数kmの間にも、さまざまなおみやげが目に飛び込んできました。

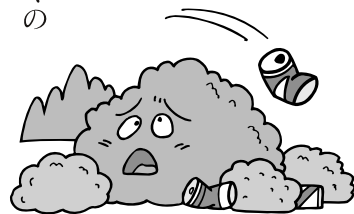
みなさんは「割れ窓理論」をご存知ですか。これは、アメリカの心理学者が唱えたもので、簡単に言うと、「割れた窓をそのまま放置しておく」と、だれも注意を払っていないと感じて、他の窓まで割られ、結果的にはその地域の治安にまで影響する」というものです。

これはごみでも同じこと。捨てられたごみをそのままにしておくと、それを見たほかの人までもが同じように捨ててしまいます。それが結果として軽犯罪の増加にもつながっていくそうです。誰かが何気なく捨てたごみが、まちの景観を損ねるだけでなく、自然環境、地域の治安までも影響を及ぼす危険があります。

市内でもごみ拾いの活動は、ボランティアグループや学校、行政区などで行われていますが、なかなか減らないというのが現状ではないでしょうか。

「見てみぬふりをしないこと」。簡単なようで実はとても難しいことです。しかし、地域のごみを減らしていくためには、この気持ちと実践が不可欠のように感じます。

私は、まず「ごみを捨てない」「ごみを見つけたら拾う」という最も基本的なところから始めてみようと思います。(竹)



大好きなふるさと

私は小学4年生のときに旧庄内町から旧嘉穂町の小学校に転入しました。わずか1学年1クラス25人という小さな小学校で、はじめはみんながみんな運動神経が良いことにとてもびつくりしました。少しでも運動ができるようにと、ジュニアバレーボールを習い始め、中学生までたくさん仲間と汗だくでがんばりました。



東京都練馬区在住
岡本 祐子さん(26歳)
宮吉出身

高校を卒業して北九州市や広島県の学校への進学、北九州市での就職と、親元を離れ一人暮らしをし、そろそろふるさとに帰ろうかと思っていた矢先に今の主人と出会い、遠い東京へ行くことになりました。以前にも増して実家に帰ることが少なくなり、さらに東京という都会での暮らしの中で、ふるさとの自然の素晴らしさや昔の思い出などに浸ることも多々あります。

しかし、たまに帰ってきててもまだまだきれいな自然は残っていて、絶対に他では見ることのできないたくさんさんの蛍、風や土、緑の匂いが私をホッとさせてくれます。

なによりジュニアバレー時代からの友達はいっ帰ってきてても集まってくれ、離れていることなど感じさせないくらいに昔と変わらずなんでもないこととで大笑いしたり、時には親身になって相談に乗ってくれたりといつでも私の居場所を作ってくれます。本当に幸せだと感じます。

7月の総合相談



会場案内

法律相談

- 1回目
と き: 7月3日(木) 13:00~16:00
と ころ: 山田ふれあいハウス
- 2回目
と き: 7月17日(木) 13:00~16:00
と ころ: 稲築住民センター

心配ごと相談

- 1回目
と き: 7月9日(水) 13:00~15:00
と ころ: 稲築住民センター
- 2回目
と き: 7月23日(水) 13:00~15:00
と ころ: 稲築住民センター

心配ごと相談は、毎月第2・4水曜日に稲築住民センターにて開催します。法律相談(無料)は、毎月第1木曜日が山田ふれあいハウス、第3木曜日が稲築住民センターです。法律相談は予約が必要です。お早めに下記までお申込みください。

嘉麻市社会福祉協議会 ☎42-0751

ヤマシリーズ
炭鉱の記憶 NO.15



大野重美さん
81歳
(芥田在住)

大野さんが三井山野炭鉱に入社したのは、昭和32年、31歳のときでした。それまで農業を営んできた大野さんにとって、炭鉱は全く違う世界だったようで、「危険が高い分、仲間同士のうちや裏切りは全くなくて、こんなに人間性がきれいな世界があるのか」と思ったよ。そして、こんな中で自分がやっていけるのかとも思ってたね」と入社当時を振り返ります。

その炭鉱が閉山する昭和48年までの16年間、採炭作業に携わった大野さんは、何度も悲惨な事故を経験しました。共に行動していた仲間が、坑内の上壁から落ちてきた岩が頭に直撃して亡くなったこと、ガス爆発事故の際に、遺体の運び出し作業を担ったこと…辛い経験の一つひとつを思い返し、「目の前で死んでいく人がいるのに、どうしようもない。何もできんのですよ」と少しこわばった表情で、取材のために用意してくれた石炭を見つめます。

「坑内に下るときは、みんな無口でね。作業を終えて上がってくるときは、体中真っ黒になりながらも朗らかな表情をしていたよ」という大野さんの言葉が物語るように、怪我や死という恐怖を常に感じながら、命をかけて、家族のために働き続けたのです。

そんな大野さんを支えたのも家族です。次女のセイ子さんは、「お父さんが炭鉱から帰ってきて寝ているときは、しっかりと休めるように、兄弟三人で部屋の中で静かにしていたことを憶えています。それに真っ黒になったお父さんの服を近くの川まで洗いに行ったりしてましたね」と幼い頃の記憶をたどって話してくれました。

命をかけて家族のために働く父親、それを影で支える奥さんと子どもたち。家族のお互いへの思いやり、愛情、優しき、絆がそこにはしっかりとあったのです。